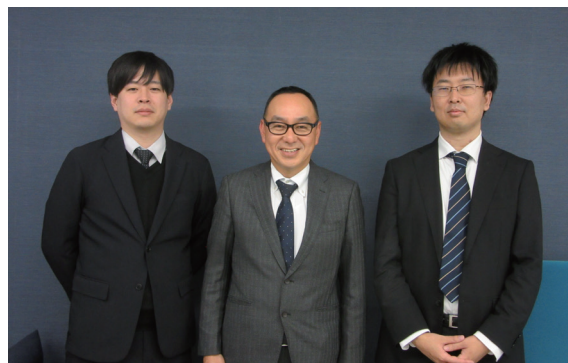


「内製システムの利用における 属人化を始めとする課題を ADMS導入で解決」

長谷工グループ内のActive Directory(以下、AD)、Teams、その他導入している30システム以上のID管理をADMSで実現しています。ワークフロー機能を追加し、利用者申請を可能にすることで、管理者負担の大幅な軽減を実現しました。ADMS製品を導入した経緯と効果について、長谷工エアネシス 価値創生部門IT推進部 三田 裕明氏、同部システム推進チーム 堀越 昌志氏、新倉 裕樹氏に詳しくお話を伺いました。

Point

- 経緯 内製システムの設計・実装の属人化及び障害時対応の課題を解決するために、パッケージ製品の導入を検討していた。
- 導入 「固有要件に対する最適化」「人事システム情報の利用」が可能であったこと、「他社に比べて安価」であったことが決め手だった。
- 効果 属人化による課題解決に加え、一部手動対応となっていた範囲も自動運用が可能になるなど、運用の効率化を実現できた。



左から
長谷工エアネシス 価値創生部門IT推進部システム推進チーム 新倉 裕樹氏
HA東 価値創生部門IT推進部 統括部長 三田 裕明氏
HA東 価値創生部門IT推進部 システム推進チーム チーフ 堀越 昌志氏

社名
株式会社 長谷工コーポレーション

ユーザー数
無制限ライセンス(15000ユーザー)

URL
<https://www.haseko.co.jp/hc/>

株式会社 長谷工エアネシス プロフィール

長谷工グループのインキュベーターとして、長谷工コーポレーションをはじめとするグループ各社のIT基盤を支えながら、新たな業態開発にも積極的に取り組んでいます。価値創生部門は、2018年に将来の長谷工グループの事業改革に寄与することを目的に長谷工コーポレーションの部署として新設され、2020年4月に長谷工エアネシスへ移管されました。

ICT・IoTなどのデジタル技術や先進的技術の活用やDX基盤の構築を推進し、新たな事業モデルを創生・実証することで、長谷工グループの商品や既存サービスの競争力確保や労働生産性向上、将来の事業改革に向けた活動をしています。

導入の背景について

長谷工グループのセキュリティレベルを統一するため、ドメインを統合する必要があり、AD管理システムを内製しました。しかし導入後10年が経過し、「設計・実装が属人化し、機能追加が即時に行えない、システム障害時に即時対応できない場合がある」「機能追加を繰り返したことで細かな歪みが発生している」「システムの管理主体が不明確」「一部、システムがADを変更した際のログが取得できていない」等の問題が発生していました。これらの課題を解決すべく、パッケージソフトウェアの導入を検討しました。

製品決定理由

AD管理ソフトウェアの中でも、ADMSはカスタマイズの柔軟性があり、弊社固有の要件に合わせた最適化が可能であったことや、既存人事システムの情報を利用してシステムを構築することができることが導入の決め手となりました。他社製品も比較検討しましたが、ADMSは特に弊社の希望要件とマッチしていたことに加え、導入費用及び運用費用が最も安価であったことも導入を決定する理由となりました。

導入効果について

課題となっていた、設計・実装の属人化や障害時の即時対応等が解決できました。内製システムを運用していたころは手動で対応していたものも、ADMSを利用することで自動化でき、運用効率化を実現できました。また、実際の運用に即したカスタマイズも柔軟にご対応いただき、運用管理の面でも負荷軽減を図ることができました。

また利用者からも、ADMSの操作画面について「直感的に操作ができ、使いやすい」といった声が上がっています。

弊社サポートについて

スクラッチ開発した内製システムからのリプレースということもあり、構築当初、課題も多くありましたが、貴社のサポートのもと大きなトラブルもなく、円滑に移行することができました。追加のカスタマイズについても、迅速かつ丁寧に対応していただき、感謝しております。

また、3月の大規模人事異動時に通常より長い時間のサポート体制を組んでいただけのことで、予想外の結果に対する対応にも備えることが可能となり、感謝しております。今後も引き続き、追加カスタマイズのご対応や運用面でのサポートを期待しております。

その他導入事例や製品のご紹介はこちら

<https://adms.jins.co.jp/> または

ADMS

検索